

■木下恵介 映画監督。戦時下に黒沢明とともにデビュー，作品毎に試みを成し，〈敗戦〉後の日本映画の黄金期。

きのしたけいすけ

明治天皇没・1912＝ 浜松市伝馬町で，漬物店営む木下周吉・たまの四男に生まれる(8人兄弟)。

父は一代で財を成した立志伝的な人物であった。

ベル仁条約・1919＝ 7歳：浜松尋常高等小学校に入学，

原敬首相暗殺1921＝ 9歳：

在学中にさかんに映画を見て，

海軍軍縮条約1930＝18歳：浜松工業高校紡績科を卒業後，上京し，

満州事変・・・1931＝19歳：

国際連盟脱退1933＝21歳：\_オリエンタル写真学校を卒業して，松竹蒲田撮影所技術部に入社，

撮影部に移り，撮影技師桑原昂の助手を務めた後，

二二六事件・1936＝24歳：\_新設の松竹大船撮影所に移り，島津保次郎に引き抜かれて助監督となり，監督部に移る。

日中戦争始・1937＝25歳：島津の「浅草の灯」や，

第二次大戦始1939＝27歳：吉村公三郎の「暖流」などを担当する一方，シナリオも執筆，

大政翼賛会・1940＝28歳：応召し，中国各地を転戦したが，

日米開戦・・・1941＝29歳：発病して野戦病院に入院，内地送還で帰国。

創価学会検挙1943＝31歳：\_時局風刺の要素を織りこんだ喜劇「花咲く港」で監督デビュー。同年，東宝では黒沢明が「姿三四郎」でデビューしたが，もっとも優れた新人監督を対象とした山中貞雄賞の選考では，木下，黒沢ともに甲乙つけがたく2人そろって受賞。以来，好敵手とみなされ，ほとんどの作品を自らが脚本を執筆して製作，

敗戦・・・1945＝33歳：

新憲法公布・1946＝34歳：\_実際，\_お互いの戦後第1作，木下「大曾根家の朝」と，黒沢「わが青春に悔なし」は，「戦後の民主的な日本映画の最初の代表作」になる。

極東裁判決・1948＝36歳：島崎藤村原作のドラマ「破戒」，

三大事件・・・1949＝37歳：ロマンティック・コメディの「お嬢さん乾杯」，

独立回復・・・1951＝39歳：\_日本初の国産カラーによる長編「カルメン故郷に帰る」を発表し，NHK映画ベストテン1位，日本映画文化賞。

メーデー事件・1952＝40歳：モダンな感覚の「カルメン純情す」，

TV放送始・・・1953＝41歳：戦争の悲劇や反戦の思想を描いたヒューマニズム映画「日本の悲劇」，

自衛隊発足・1954＝42歳：\_戦後最大の「催涙映画」といわれた「二十四の瞳」で，ブルーリボン賞作品賞，毎日映画コンクール日本映画大賞，ゴールデングローブ賞外国語映画賞などを受賞。同年のキネマ旬報ベストテンでは，同作と社会的なテーマを強く打ち出した「女の園」が黒沢の「七人の侍」を抑えて1位・2位を独占。

55年体制始・1955＝43歳：回想シーンが特徴的な「野菊の如き君なりき」，

なべ底不況・1957＝45歳：\_「喜びも悲しみも幾歳月」，

インスタントマン・1958＝46歳：\_「楢山節考」を発表。トリュフォーなどの映画人に絶賛され，ヴェネツィア国際映画祭に出品され金獅子賞の有力候補となったが，稲垣浩の「無法松の一生」にさらわれる。

安保闘争・・・1960＝48歳：\_「笛吹川」。

全国総合計画1962＝50歳：\_「今年の恋」に至るまで，多種多様な主題と傾向の映画をこなししたが，この間，女優の高峰秀子，監督の松山善三，シナリオライターの山田太一らを育てる。

東京リビウ 1964＝52歳：\_企画した作品が採算性に対する疑義で松竹側からお蔵入りとなった際，撮影所の不正経理を指弾したことなどから会社との関係が悪化，退社して{木下恵介プロダクション}を設立。テレビドラマ界に進出，TBSで{木下恵介アワー}放映開始し，

いざなぎ景気1966＝54歳：

美濃部都知事1967＝55歳：東宝で「なつかしき笛や太鼓」監督して，映画は中断。\_この年まで手がけた。

全共闘闘争・1969＝57歳：黒沢明，市川崑，小林正樹と{四騎の会}を発足。注目を集めたが，共同監督による映画は結局実現せず。

大阪万博・・・1970＝58歳：\_TBSでドラマ{木下恵介・人間の歌シリーズ}放映開始，

石油ショック1973＝61歳：

クランブル事件1975＝63歳：

田中角栄逮捕1976＝64歳：東宝の「スリランカの愛と別れ」で，9年ぶりに映画監督に戻り，

JALハイジャック・1977＝65歳：\_この年まで続け，映画人代表団8名と，日中文化交流会の招待に応じて中国を訪問後，

革新大敗北・1979＝67歳：\_松竹に復帰し，「衝動殺人・息子よ」。

貿易摩擦問題1980＝68歳：「父よ母よ」。

・・・1981＝69歳：脚本「わたちの戦場」を執筆して映画化を企画するが，内容が暗すぎるという理由で製作中止となる。

中曽根内閣・1982＝70歳：

・・・1984＝72歳：

竹下登内閣・1987＝75歳：製作中止になっていた脚本「戦場の固き約束」を出版。中国から松竹との合作企画が出るが，中止にな。

リクルート事件・1988＝76歳：\_最後の作品「父」。

ソ連崩壊・・・1991＝79歳：\_文化功労者となり，

55年体制終・・・1993＝81歳：

・・・1998＝86歳：脳梗塞のため\_没した。没後，功績に対し，エランドール賞特別賞が贈られた。

彼の全作品の音楽を担当している木下忠司は実弟，シナリオライターの楠田芳子は実妹。